

公民館だより なかがわ

第486号

令和5年5月9日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「陶芸教室」

日時：6月6日（火）10：00～12：00 頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：平清水焼 七右衛門窯 高橋 正さん
持ち物：手拭きタオル、飲み物など、
汚れても良い服装（エプロンなど）
材料費：1,500 円（つり銭のないようにお願いします）
対象：中川地区民
定員：先着 20 名程度
（参加人数が少ないと開催できなくなりますので、
多くの方の参加をお待ちしております。）
締切日：5月23日（火）

500gの粘土を使って、器を作ります。湯呑なら
1個、お皿なら1枚、製作可能な粘土の量です。



（以前作成した作品です。）

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）

5月 行事予定



- 5/1(月) 里山体験きのこ作り教室（中川小3年生）
（職員不在時間あり）
5/2(火) 三者会・中川地区会長会
公民館運営協議会
5/8(月) 福祉村第2回実行委員会
第1回主事部会
5/9(火) 市報・館報
第2回そば打ち教室
5/12(金) 一般講座「刺し子体験」
5/17(水) 食改検討会・防犯協会中川支部総会
5/19(金) 第2回パソコンクラブ
5/23(火) 第2回ウォーキング（職員不在時間あり）
5/26(金) 第1回粋いき倶楽部開講式
5/28(日) 中川地区グラウンドゴルフ大会

参加者募集



中川地区グラウンドゴルフ大会

日時：5月28日（日）9：00～12：00 頃
場所：中川地区公民館前広場
参加料：無料
対象：小学1年生から一般までの中川地区民

※詳しくは、地区回覧のチラシを
ご覧ください。

中川地区さわやかコンサート 「上山吹奏楽団」

日時：6月11日（日）
開場 10：00 開演 10：30～
場所：中川小学校 体育館
入場料：無料
対象：年齢問わず 中川地区民 100 名程度

※詳しくは、地区回覧のチラシを
ご覧ください。

各教室の予定

グラウンドゴルフ愛好会	
（月曜日）	5/1、8、15、22、29
詩吟教室（火曜日）	5/9、16、23
ラージピンポン愛好会	
（木曜日）	5/11、18、25
スポーツ麻雀愛好会	
（木曜日）	5/11
（土曜日）	5/20、27

令和5年度の事業計画スタート

《 中川地区会 》

中川地区戦没者追悼式
中川地区新年祝賀会
笑い与健康のつどい

《 福祉村関係 》

蔵王山頂清掃とつつじ祭り
やすらぎ宅配「笹巻き」事業
中川福祉村運動会
福祉村文化産業まつり
中川福祉村施設訪問

《 主事部・体育部 》

中川地区グラウンドゴルフ大会
中川地区さわやかコンサート
中川地区ソフトボール大会

《 防犯協会中川支部 》

防犯協会中川支部総会
中川地区夏の安全パレード
中川支部防犯診断
防犯協会中川支部研修会

《 子ども会育成会 》

わんぱく広場
中川地区少年少女球技大会
少年少女バスケ・ソフトボール大会
しめ飾り作り
雪と遊ぶ会

《 高齢者対象 》

中川粋いき倶楽部
高齢者教室（軽スポーツ大会、研修旅行）

《 公民館単独 》

詩吟教室
そば打ち教室
パソコンクラブ
ウォーキング教室
グラウンドゴルフ愛好会
ラージピンポン愛好会
スポーツ麻雀愛好会
しめ飾り作り
一般講座
単発講座

中川地区公民館運営協議会総会

令和5年度の中川地区公民館運営協議会総会が4月4日（火）に開催されました。今年度の協議会会長には鈴木 英明氏（高野）、副会長には高橋 源一郎氏（金谷）が選任され、各地区会長14名と公民館館長の協議会役員により、令和5年度事業計画・予算について承認されました。中川地区がますます活性化するように皆様方のお力をお借りしながら役職員一同がんばっていきたいと思っております。是非、公民館事業に積極的にご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

◎会長、◎副会長 ◎部長、◎副部長が決まりました。 よろしくお願ひいたします。（※敬称略）

	地区会長	子ども会育成会		公民館主事	体育部
会長	鈴木 英明（高野）	斉藤 恭兵（薄沢）	部長	齋藤 忠雄（薄沢）	齋藤 裕介（権現堂）
副会長	高橋 源一郎（金谷）	齋藤 裕之（泉川）	副部長	山口 重光（足ノ口）	木村 将裕（泉川）
副会長		佐々木 菜香（権現堂）			

中川地区合同懇談会



4月4日（火）「令和5年度中川地区合同懇談会」が開催されました。各地区会長、小中学校・民生児童委員協議会・消防団・上山警察署など中川地区関連の方々、中川福祉村、公民館職員、総勢25名が一堂に会し、中川地区会長会の鈴木英明会長のあいさつに始まり、それぞれ自己紹介および今年度の活動方針などを伝え、顔合わせとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

中川地区戦没者追悼式

4月19日（水）地区会長会主催の「中川地区戦没者追悼式」が執り行われました。地区会長、来賓7名の方々にご臨席いただき、戦没者の御霊を供養いたしました。私達は、現在の平和と繁栄が多くの尊い犠牲の上に築かれていることを後世に継承していかなければなりません。毎年行われている「中川地区戦没者追悼式」を通して、改めて戦争による悲しみを思い、幸せな毎日を送る大切さを考える日になっていければと思います。



第63回中川福祉村村議会



4月20日（木）「第63回中川福祉村村議会」が34名の参加で開催されました。中川福祉村の齋藤秀雄村長の挨拶に始まり、上山市福祉課 鏡祐一課長より横戸長兵衛市長の挨拶をいただきました。その後、令和5年度事業計画・予算案など全てに承認いただき、今年度の事業を行うこととなりました。コロナ感染症が完全に収束したわけではないので、その中でも出来るような内容を考えながら、福祉村としての役割を果たしていきたいと思います。

各教室 始まりました！！

ウォーキング教室

会員 20 名。1 回目は小豆森観音コース。
テラポイトは石井昇（坊平）さんです。



そば打ち教室

会員 13 名。木村豊治さん講師
のもと、そばを極めます！！



パソコンクラブ

会員 12 名。最初は Word の文字
入力！どんどん難しくなります。



詩吟教室

会員 8 名。講師 齋藤陸州氏。
詩吟が大好きな仲間です。



グラウンドゴルフ愛好会

会員 33 名。今年度も元気に
楽しくプレイしましょう～。



ラージピンポン愛好会

会員 23 名。暑い時も寒い時も、
皆さんピンポンを楽しんでいます。



スポーツ麻雀愛好会

会員 20 名。いつも楽しそうな
笑い声が聞こえてきます♪



※まだ入会可能な
教室もありますの
で、興味のある方
は、お気軽に公民館
までお問い合わせ
下さい！

【一般講座】「春の寄せ植え」

4 月 26 日（水）一般講座「春の寄せ植え」が開催されました。
講師はペンションアップルの佐藤さんです。今回は、高山植物の
寄せ植えで、オキナグサ、ヒナソウ、キリンソウ、イワカラクサ、
バイカカラマツ、シューティングスターの 6 種類を準備してい
ただきました。あいにくの雨で、公民館の中での作業となってい
ましたが、たくさんの可愛らしいお花を前に、佐藤さんに育て
方など質問をしながら、皆さん楽しく寄せ植えをしていました。



素敵な作品が完成！ パッチワーク教室

1 月から 3 月まで月 3 回開催してい
ました「パッチワーク教室」で、素敵な作品
が出来上がりました！講師の板垣まさ子
さん（高野）指導のもと、各自、ご自宅から
着物や余っている生地などを持ってきて
つなぎ合わせ、それぞれ思い描いた作品に
生まれ変わりました♪



おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第百七十五弾〉

「昭和考、問わず語り（その27）」

昭和四年七月二日に成立した浜口雄幸内閣は、世界恐慌、冷害という逆風を克服しながら何とか国政を担っていたが、米英の主導する海軍軍縮条約の批准という困難な国際関係に直面し協調外交を進めた。しかし翌五年十一月、そうした政策を押し進める浜口首相を国賊と見る右翼の凶弾に倒れ、岩槻第二次内閣に引き継がれた。

〈統帥権をめぐる大論争〉

浜口内閣成立後、ロンドン海軍軍縮会議において、補助艦保有量対米七割を維持できるかが焦点となった。補助艦とは、駆逐艦、潜水艦などの艦艇のことであるが、海軍は、対米七割が維持できなければ有事に対応できないと主張、与野党ともこの方針に同意した。しかし、会議では、米などが対米七割以下を主張し、米英から借金が残っていた日本政府は、結局これに同意した。

しかし、加藤寛治海軍軍令部長、末次信昭同次長ら海軍軍令部ら「艦隊派」と呼ばれる人々は、「政府は統帥権を犯した」としてこれに強く反発、政府に同意する財部彰海相や岡田啓介元海相ら海軍内の「条約派」との間で対立が起きた。さらに艦隊派に同調して倒閣を狙う野党政友会、それに天皇を絶対視する観点から米英協調に不満な伝統右翼が加わって、国を二分する大論争に発展した（統帥権干犯問題）。

兵力量の決定は、財政の問題でもあるため、政府と軍部の協議で決める事項とされてきていたが、浜口首相も加藤海軍軍令部長の同意を取り付けていたものの、浜口の配慮不足から加藤軍令部長側は、浜口首相に押し切られたと感じて反対運動を起したものである。結局、加藤軍令部長は六月に抗議辞職した。

浜口内閣は、米英との協調外交を持論とし、七割未満で満足していた昭和天皇の支持を得ていたことから、この軍縮条約の批准を推進し、十月には枢密院で批准が承認された。

〈浜口首相の狙撃事件〉

昭和五年一月以降、前述のとおり国内は不況の

どん底にあった。伝統右翼には、こうした恐慌対策に不熱心で、米英協調を推進する浜口首相は、日本の団結と威信を汚す国賊と罵った。

昭和五年十一月十四日、東京駅で浜口首相が右翼団体の青年に狙撃され重傷を負った（写真①）。幣原外相が首相臨時代理となったが、昭和六年二月三日、衆議院予算委員会で幣原が、ロンドン海軍軍縮条約について、「天皇が認めたから問題がない」と答弁したため、政府が政治責任を天皇に押し付けたとして野党政友会が猛反発、議場で乱闘が起きて数日間審議が中断された。マスコミは、この状況を「議会政治の墮落」として大きく批判し、政党政治の信用が決定的に傷ついた。

〈三月事件の発生〉

この乱闘の現場に政府委員として居合わせた陸軍のエリート将校たちは、「もはや政党内閣に国防を任せておけない」と判断、昭和六年三月、宇垣一成陸相（写真②）を首相とする軍事政権の樹立を目指してクーデターを計画した。しかし、宇垣陸相が同意せずこの計画は未遂に終わった（三月事件）。

事件は、嚴重に秘密にされ、昭和天皇を含む政界で知られるようになったのは半年近く後のことであった。報道されることは敗戦後まで、ついになかった。

〈浜口首相の退陣、若槻内閣が成立〉

浜口首相は、結局体調が回復せず、昭和六年四月十三日退陣を表明し、元老・西園寺は、民政党総裁に就任していた若槻礼次郎を後継首相に推薦し、四月十四日、第二次若槻内閣（写真③）が成立した。浜口は、その年の八月に死去した。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書より）

〈国家改革運動の起こり〉

政治の混迷が続く中で、水面下では、急進的な改革運動が蠢動していた。実はその動きこそが、その後の日本を戦争に駆り立てる力となった。

その一つは、軍に向けられた国家社会主義勢力による国家改造運動であり、その二つは、陸軍エリートによる軍内部から革新を図ろうとする動き

甲石地区 高橋 正之

であった。以下その蠢動の模様について述べる。

〈国家主義者の動き〉

大正期の後半、左翼勢力が台頭するが、それを見ても国家主義者は、政治的社会的プログラムを有していなかった。

しかし、大正八年八月「猶存社」が結成されると、対内的にも対外的にも急進的な現状打破を標榜し、資本主義と政党政治とを否定する方向で日本の再建を図ろうと動き始めた。

この「猶存社」の指導には、満川亀太郎、大川周明、北一輝が当たったが、特に大川と北は、軍を中心とする国家改造運動の理論的指導者として重要な役割を果たした。（緒方貞子著「満州事変」岩波現代文庫より。写真①は古川隆久著「昭和史」ちくま新書より、②、③は「昭和の二万日の全記録」講談社刊より）

（次回は、大川、北の理論について記述する予定で

（写真①）



（写真②）



（写真③）

